

## 【平成27年度上期顕彰先一覧】

年次	助成先名	業種	助成事由
平成27年度上期	(株)飯田製作所	製菓食品機械設計製作販売	手作業の軽減や定量性アップが求められる菓子業界で、80年にわたり高品質な製品開発に力を注いできた。フードセーフティの流れに沿った食の安全管理も積極的に対応。今回は「カセットミニピストン仕様」の機械を開発し、生地を傷めず安定した充填を可能にした。この機械は操作が簡単で、コンパクトながら生産量が大幅アップする。
	ベストバック(株)	食肉包装資材卸	従来の豚肉包装は手巻包装が一般的だったが、当社が開発した「BPVACシステム」は、豚肉の各部位をフィルム上に置くだけで自動真空包装を可能にした。毎分15パックの真空包装ができ、部位の残留がなく衛生的な作業を可能にするシステムである。従来の手巻包装より格段に作業効率が上昇し、包装人員軽減で労働力の平準化が図れる。
	(株)三矢	かつらの加工、販売	モデルウィッグ専門メーカーとして「東京チャーム」というブランドで販売している。理容・美容業界で店舗・コンテスト用として信頼を得ており、美容師・理容師国家試験の実技試験用としても認定されている。男女、頭蓋形・毛質等多彩なバリエーションがある。他社製品はナイロン素材でハサミの刃先を傷めたりパーマ液が浸透しなかったりするが、当社製品は強度ある最高級品の「人毛」を使用し仕上げの艶に優位性がある。
	(株)種谷製作所	神輿及び神仏具製造	大正9年より続く神輿及び神仏具製造業で現代代表者は3代目。「種谷」での実績や技術力が評価され、平成6年に200年以上続く神輿及び神仏具製造屋号である「宮惣（みやそう）」を村田家から継承して「種谷」と「宮惣」で取引可能になった。「宮惣」を継承したことで、平成12年に江戸三大祭りの一つである「神田祭」で使用する神田神社本社神輿の製作にも携わった。
	日東レジン(株)	塗装工事業	当社と他2社で配管プラント防錆用剥離塗料（x-1011）、汚染拡大防止用剥離塗料（x-2022）を開発し、共同特許を取得した。従来はテープを使用して空気が入り錆やすく、剥がす時は糊残りで溶接しにくかった。x-1011は錆の発生を防ぎ簡単きれいに剥がせることで手間とコストを削減できる。x-2022は原子力発電所等で除染塗装に使用する。従来はシートで養生して表面が密着せず汚染拡大の恐れと処分に手間とコストがかかったが、本塗装は剥がれにくく剥離可能で、手間とコストを削減、シート処分も必要なく環境にも良い。
	(株)フォーアーツデザイン	塗装工事業	高架下は日が当たらず、壁面に汚れ、落書きも目立って美観上良くないことも多い。海外からの観光客増加、防犯対策、環境美化を考えて発案し、アート塗装を提案、実施した。現在、秋葉原高架下、明神坂擁壁アート塗装工事等の実績もあり好評を博し、JR等の大手企業からも評価されている。
	スズキ機工(株)	自動機器の設計製作施工	「LSベルハンマー（超極圧潤滑剤）」を開発した。テフロン等食品添加物を一切使用せず、金属表面に付着浸透しやすい分子構造により従来にない潤滑性能を実現した。機械装置の焼付防止、異音解消、摩擦破損防止、節電に効果あり。改良で「H1ベルハンマー（食品機械用潤滑剤）」を開発した。従来品を圧倒する付着浸透性能、耐摩擦、潤滑性能で効力を発揮する。
	ヤマト徽章(株)	徽章類卸売業	① 鋳造金属である「アンチモニー」カップへの蒸着メッキ～金属カップへの蒸着メッキを業界で初めて製品化した。② 高級樹脂カップの開発～デザインと大きさを時間・費用・手間をかけ金属に負けない外観を再現、メッキは金色をより強く再現する技法を開発した。③ 京セラ「京都オパール」採用製品を共同開発した（装飾品だった人工オパールを使ったクリスタル製品）
	(株)リーデン <特別賞>	建設機械部品、産業機械部品の製造販売	車両等に使用するワイヤーハーネス組立て用の生産性向上システム「ワイヤーハーネスデザインソリューション」を開発した。自動車部品の中でも神経や血管に当たるワイヤーハーネスの製造を手掛け、ショベルカー等建設機械向けに特化している。複雑かつ膨大な回線になるため、全体管理システムの活用が大きな課題であったが自社内でこの開発に成功し、販売に踏み切った。